

第19回サイエンスカフェ★えひめ

生きもの・生態へのアプローチ

～愛大大学院生2人による研究発表～

日 時：平成29年

3月21日(火)

19:00～20:30

場 所：愛媛大学城北キャンパス
(松山市文京町3番)

愛大ミュージアム 3階 343会議室

対 象：身近な自然に関心のある人、30人
参加費：200円

「脊椎動物の脳の進化」

◆河原 萌恵さん

愛媛大学大学院理工学研究科 環境機能科学専攻 生物環境科学コース在籍

脳を思い浮かべてください。というとヒトの脳を思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、ヒトだけでなく、イヌやネコ、鳥、魚など様々な脊椎動物が脳を持っています。皆さんはそれらの脳を見たことがありますか？実は脳の形は動物ごとに異なっていて、その働きも様々です。今回は、脊椎動物の脳がどのような過程を経て進化してきたのかについてお話したいと思います。

「愛媛県におけるヤリタナゴ・マツカサガイ共生系について」

◆吉見 翔太郎さん

愛媛大学大学院理工学研究科 環境機能科学専攻 生態学研究室M2 (卒業予定)

観賞魚として人気の高いタナゴ類は、全国的に絶滅が危惧されている小さな淡水魚類です。愛媛県においても3種のタナゴ類が生息しており、特に、愛媛県在来種であるヤリタナゴは、近縁種との交雑や産卵床の減少により絶滅寸前であることが分かってきました。今回はその研究成果をお話します。

★お申し込み

裏も見てね！

お名前、電話番号、e-mailアドレス(お持ちの場合)を明記の上、下記の連絡先まで、e-mailあるいはFAXでお申し込みください。

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

(ご提供いただいた個人情報は適正に管理し、サイエンスカフェ★えひめ、自然観察会等のご案内にのみ使用します。)

*** 主催：NPO 森からつづく道 共催：愛媛大学女性未来育成センター ***

2016.8.19

「風早生きもんDAYS」 立岩川生き物観察会

における、講師・吉見さん→
社会人になっても、生きもののことを子どもたちに教えてあげてくださいね！

今日は立岩川にすむ生きものを観察します！

ハイ！！

◆吉見 翔太郎 さん

2012年より生態学研究室のタナゴ研究班のお手伝いとして研究に関わり、卒論研究、修論研究でも続けてタナゴに関する調査・研究を行っていました。来年度からは大阪で環境コンサルタント会社で頑張っています。

横並びになって魚を追いかむぞ！

脳の形や働きは動物ごとに違う？！
河原さん、ご発表楽しみです！

◆河原 萌恵 さん

出身は福井県。ヤツメウナギとサメを用いて、脳の中でも重要な役割を担う大脳(終脳)について、どのような遺伝子があるのかを研究しています。

よしみ先生、
ワイルドじゃげ♡♡

ほえ～、なんでも
知ってるし♡♡♡



種によって異なる魚の脳

注：子どもたちが夢中になっていたのは、魚だったのかもしれませんが。